

Christmas Jazz Concert

令和6年

12月21日(土)

13時30分～15時45分
(12時30分から受付開始)

本郷ふれあいセンター

入場料
1,000円



↑申込用二次元コード

■定員:290名 ■申込締切:12月20日(金) ※先着順。定員になり次第、受付終了といたします。

■申込方法: 窓口・電話・FAXのいずれか。公演名・氏名(申込者全員分)・住所・電話番号をお伝えください。また、いばらき電子申請・届出サービス(上記二次元コード)からの申し込みも可能です。

※4名までお申し込み可能(重複してのお申し込みはご遠慮ください)

■申込先: 生涯学習課(中央公民館内) TEL:029-888-2526 FAX:029-888-0032

主 催 : 阿見町教育委員会

お問合せ先: 阿見町教育委員会生涯学習課(中央公民館内) TEL:029-888-2526

高瀬龍一 (trumpet)



11歳のときからトランペットを演奏し始め、大学卒業と同時に日本を代表するジャズ・トランペッター福原彰氏に師事。福原氏没後結成された「福原彰メモリアル・オーケストラ」に参加しプロ・デビュー。1994年にエレクトリック・マイルスを探索するバンド「スター・ピープル」を結成し、イムズ・ジャズ・バンド・コンテストでグランプリを受賞。1998年には自己のグループによる初リーダー・アルバム「Is Not Here」、2003年「Turn Around」を発表し、各方面から好評を得る。2013年、カウント・ベイシーの音楽に特化した「高瀬龍一ビッグバンド」を立ち上げる。「高瀬龍一ビッグバンド」の素晴らしいサウンドや、バンドの持つ魅力が多くの人々の心をとらえ、毎回の公演が満席になり、躍進を続けている。また、教則本を執筆し「高瀬龍一ジャズ・トランペット教室」を開設、主催する他、山野楽器ジャズ・トランペット科専任講師をつとめるなど後進の指導にもあたっている。

出口優日 (vocal)



2006年に洗足学園音楽大学ジャズヴォーカルコースへ入学。平田康子、Dana Hanchardの各氏に師事。在学中より活動を始め、2006年第1回さいたまジャズヴォーカルコンテストにて奨励賞を受賞。2010年3月に洗足学園音楽大学を首席で卒業。2011年9月、自身初のミニアルバムLook in my daysを洗足学園音楽大学のレーベルSGworksより発売。2014年6月には、ベテランジャズドラマー久米雅之氏のプロデュースのもと初のフルアルバム「Just from now」を発売、好評を得る。現在は自己のリーダーバンドでのライブの他、紗理とのジャズコーラスユニットChai-Chii Sistersとして、ジャズボーカリストakikoのミニアルバムSwingy Swingyへのレコーディング参加や、コーラスグループGentle Forest Sistersの一員として、CM出演やアルバムをリリースするなど、幅広く活動中。

江澤茜 (sax)



中学入学と同時に吹奏楽部に入部し、サクソスを開始。在学中に聴いたザ・グレン・ミラー・オーケストラの演奏に影響を受け、ジャズに興味を持つ。昭和音楽大学ジャズコースを優等賞を得て卒業。2019年には西オーストラリアで行われたPerth International Jazz Festivalにてリーダーバンドで参加し、高い評価を受ける。中牟礼貞則氏、David Bryant氏など、多くのミュージシャンと共演。2021年に自身の1st album「Thaw」をリリース。サクソスを近藤和彦氏に師事。

久米雅之 (drums)



15歳の時、トニー・ウィリアムス氏に感銘を受け、ジャズドラマーになることを決意。高校卒業後プロデビュー。81年、91年にニューヨークとブラジルに滞在し、現地でセッションを重ねる。帰国後、国内外の著名なミュージシャンと共演。ツアーやジャズフェスティバルにも多数参加。現在は、パーカッションプレーヤーとしてもコンサートやライブハウス、レコーディングなどで活躍中。また、JAM音楽院の講師もつとめる。2009年に初のリーダーアルバムである「21」、2013年に2ndアルバム「March 11th」、2014年にヴォーカルの出口優日のアルバム「Just from now」をプロデュース。2021年には、3rdアルバム「My Song Book」をリリース。これら4作品では、作、編曲も手掛けている。ジャズに限らず、多岐のジャンルのCDに参加。2010年にはkmp社から教則本、「Modern Jazz Drumming」を発刊。

関根敏行 (piano)



16才頃より独学でジャズピアノを始める。セルジオ・メンデス、バド・パウエル、ウイントン・ケリー、ビル・エバンス、フィニアス・ニューボーン、ハービー・ハンコックなど、各氏に学ぶ。プロ入り後、水橋孝、大友義雄、河上修、植松孝夫、大隅寿男、ジョージ大塚、山口真文、ミロスラフ・ヴィトウス、ナナ・ヴァスコンセロス、ステーブ・グロスマンらとの共演やレコーディング、自己のトリオなどで活動。1978年、リーダーアルバム『ラヴ・フォー・セール』を発表。現在、東京のライブハウスを中心に積極的に演奏活動を行う一方、2007年2月には復刻版CD『Strode Road』、『Stop Over』をThinkレーベルより発売。ほぼ同時に29年ぶりのリーダーアルバム『誕生』をリリース、ヴォーカリスト河埜亜弓のデビューアルバム『Fragrance』をプロデュース。2011年、Nippon Soul Jazz Bandのメンバーを中心にしたジャズ・ピアノトリオ作品『舞』を発表し、現在に至る。

吉田豊 (bass)



ジャズ奏法を金澤英明氏、クラシック奏法を太田宏氏、佐川裕昭氏に師事。筑波大学在学中に横島和裕トリオとしてプロデビュー。2004年に横浜ジャズプロムナードコンペティションにおいて海野雅威トリオで出場し、グランプリおよび横浜市民賞を受賞。2016年、海野雅威とのデュオアルバム「DANRO」をリリース。現在関東を中心に海野雅威trio、村上寛group、中嶋錠二trio、秋田慎治duo、大山日出男group、THE BON BONESなどで活動中。また、全国の学校訪問や地域交流活動を盛んに行い、全国各地を訪問。2014年からは山口県高校文化連盟の依頼により毎年芸術鑑賞会を開催し、地元の学生へジャズの魅力や素晴らしさを伝え続けている。2010年、中高生のためのコントラバス教本（ドレミ出版社）を執筆。以来3冊の教則本を手がけ、学生に好評を博している。

城戸タ果 (flute)



学生時代からジャズ・フュージョン系のバンドで活動。1989年、デビューした小野リサのバンドに入り、ブラジル音楽の魅力やフルートとブラジル音楽との相性の良さに目覚める。1990年、初めてブラジルを訪れ、リオで小野リサのセカンド・アルバムの録音に参加。その頃は、毎年リオに長期滞在して音楽活動をし、数々のアルバムをレコーディングしながらボサノヴァの先駆者であるジョニー・アルフのバンド・メンバーとしてブラジル国内ツアーにも参加。また、ジャズ・ピアニストのデューク・ジョーダンやニールス・ペデルセン（ベース）らと共演。文楽とコラボレートした公演『女優と人形曾根崎心中』（東京、大阪）に出演するなど幅広い分野で活動。日本国内でもライブ活動を行ない、宮沢和史のブラジリアン・バンドJABATIDAや渡辺香津美のブラジリアンシャワーのメンバーもつとめた。その後、外交官夫人としてブリュッセル、ブラジリア、ボストンなどに在住。APEC諸国主催国際イベントでの記念演奏など様々な場で活動し、クラシック音楽のフルート奏者マルク・グローウェルズ氏に師事。ライブハウス出演や、2フルートのユニットを結成しアルバムを発表。2020年に帰国し日本での活動を開始して、様々なテレビ番組に出演中。ブラジル音楽を軸にジャズなど幅広い音楽の素養に根ざし、海外での多彩な活動の経験も生かしたオンリーワンの音楽家。熟練の域に達した今もなお、ハートは「Rio Smiles」。

クリスマスソングなどを、
楽しいジャズアレンジで♪
どのような曲かは、
当日来てのお楽しみですよ!!

